

## 「かわごえ産業フェスタ 2025」出展報告

埼玉県支部西部地域小委員会

西部地域小委員会は、川越市で開催された「かわごえ産業フェスタ」に、4年連続で出展参加した。当初2年は、「川越の地形を知ろう！」「川越城を偲んで」というタイトルで川越市の地理、歴史にちなんだものを取り上げ、フェスタに訪れた市民に分かりやすいように3次元画像を組み込み、それを来場者が操作できるようにプログラムを構成し好評でした。また昨年はテーマを宇宙に拡大、同様に来場者が手元の簡単な操作で「仮想月旅行」を楽しめる3次元CGゲーム・「月へ行こう！」をプログラムイン、とくに子ども達に大変喜ばれた。

本年は、「ビジュアルでみる川越いもと三富新田」と題し、2023年関東地方で初めて「世界農業遺産」に登録された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」の地である「三富新田」地域を取り上げ、市民に分かりやすい静止画、動画で構成したプログラムを展示した。

### 1. 開催概要

開催日時：2026年11月15日(土)～16日(日) 9時30分～16時

場 所：ウエスタ川越 2階 活動室4、出展タイトル:ビジュアルでみる川越いもと三富新田

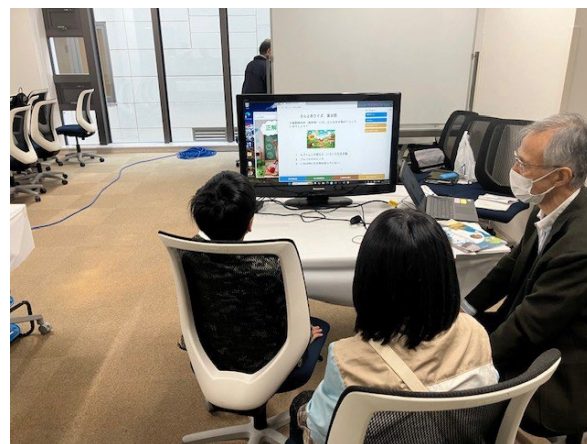
展示物:2台のディスプレイを配置、それぞれに技術士が説明要員としてついた。

展示プログラムは、①世界農業遺産、②落ち葉堆肥農法、③三富新田の紹介、④行ってみようの4セクションで構成されタイトル画面をマウスでのクリック操作により各セクションに移行できる。そこには静止画、動画、絵、3DCGなどで編集された分かりやすい「三富新田、落ち葉堆肥農法」入門編が展開されている。技術士は相手の年齢などにより画面の選択など助言しながら、できるかぎり訪れた市民にマウスを操作してもらい、かつ画面に説明を加えて対応した。プログラム全体を紹介すると20分はかかるので、来場者が多いときは10分程度で終わるように努めた。

この展示品の作成のため、西部技術士4名から1名が4度現地を調査打ち合わせ、写真撮影に赴いた。一部の貴重な資料は、世界農業遺産事務局を兼務されている三芳町観光産業課からお借りした。「三富新田の紹介」のなかでは、開拓の歴史、三富新田の特徴の項に3Dを用い武蔵野台地の地形を示したが、これらの手法は第1回、第2回の「川越の地形を知ろう！」「川越城を偲んで」の展示を応用したものであった。

### 2. 出展当日の状況

2日間で、52組114人の方々に来場いただき、小学生から80才代の市民に楽しんでいただいた。来場者の中には「三富新田」を何となく聞いていたが、詳しく今回知り「大変良かった」という方が数名、大半は「三富新田」について「初体験」であった。また「こんなに都心に近い場所で世界農業遺産に認定されたとは、埼玉県は農業も凄いだね」、と感心された方々も多かった。



### 3. まとめ

前回の「月旅行」に比べ地味なテーマのせい、来場者数は少なかった。だが「食の大切さ」をアピールでき、かつ「川越いも」という川越市民にとって身近な産物のルーツを、少数であるが市民に伝えることができ意義があったと感じている。

技術士会のイベントは多くはいわゆる BtoB であり、今回のような BtoC は貴重な機会と考える。

一般市民に技術士会を知っていただくいい機会でもあり、次回以降も川越フェスタへの展示を継続する予定である。

文責:地域活性化委員会 西部地域小委員会 浜端 英男